

平成26年9月16日 桑名市中央公民館女性学級

高齢者を取りまく環境について

～地域包括ケアシステムと介護保険～

桑名市中央地域包括支援センター

社会福祉士 西村 健二

<はじめに>

<福祉こらむ① ～高齢者虐待の実際 「法福連携」で高齢者をまもる～>

<1. 介護保険制度>

<2. 障害者福祉>

<福祉こらむ② ～ご存知ですか福祉の言葉～>

<福祉こらむ③ ～ご存知ですが法令の言葉～>

<3. 赤十字について>

<おわりに>

○「この子らを世の光に」

糸賀 一雄（滋賀県立特別支援学校近江学園の創立者）

⇒ 「この子らに世の光を」では知的障がい者児は哀れみを求める可哀想な立場になりますが、糸賀は障がい児自体をすばらしい人格の持ち主として「世の光」になるよう努力すべきだと主張しました。

○「わが国十何万の精神病者はこの病を受けたるの不幸のほか、

この国に生まれたる不幸を重ねるものというべし」

呉 秀三（日本初の精神科病院東京都立松沢病院院長）

⇒ 呉は戦前の精神障がい者が病院あるいは自宅の座敷牢に監置されている状況を嘆き、精神疾患を患った不幸の他に、十分な支援制度が整っておらず、閉じ込めておくことしかできない日本に生まれたのはもうひとつの不幸であるとし、日本に生まれた不幸は改善できることを主張しました。

～おつかれさまでした～